

12月1日は世界エイズデー

2023年世界エイズデーキャンペーン

テーマ「**あなたが変わればエイズのイメージが変わる。UPDATE HIV!**」

2023年は、岐阜市内の中学、高校、大学、専門学校8校がレッドリボンフラッグ作成に参加されました。各校それぞれの思いが込められたフラッグとメッセージをご紹介します。

レッドリボンフラッグは、11月16日～12月10日まで、神田町5丁目の交差点付近に展示しています。



〈岐阜市医師会看護学校〉

「UP DATE HIV!」自分自身の心の持ち方で、偏見や差別をなくすことができる。そして、私たち一人ひとりの心の変化が輪になり多くの人に広がることを願いレッドリボンフラッグを作成しました。正しい知識を持ち、一人ひとりが尊重される未来を看護師を志す者として支えていきたいと思えます。

〈岐阜市立看護専門学校〉

一つ一つのリボンに各々のメッセージを込めて作成しました。みんなの想いをひとつのハートに込めました。その思いが多くの人に伝わりますように…

これを見て少しでも多くの人々の励みになりますよう学生一同願っております。そして、少しでも多くの方の理解・協力を繋がるよう信じております。私たちも看護学生として責任ある行動を心がけていきたいです。





〈岐阜市立女子短期大学〉

今回のテーマ、「あなたが変わればエイズのイメージが変わる。UP DATE HIV!」に基づき、上向きの矢印でより良い方向へとステップアップしていく上昇感と、様々な活動によってエイズに対する正しい認識が広まり、世界が変わって一体化する様子を、レッドリボンでつながった地球によって表現しました。

〈岐阜聖徳学園大学附属中学校〉

この作品は、「エイズの差別をなくし、私たちはエイズの人々を応援することを約束します。」というエイズの人々との「契約」を表しています。かたく結ばれた赤リボンがほどけぬように、私たちはエイズについて深く知ることが必要不可欠です。エイズに対する偏見を持っていませんか？もう一度、見直してみましよう。あなたが変われば、エイズのイメージが変わります。さあ、アップデート HIV!





〈岐阜大学ピアカウンセリング同好会 シグマソサエティ〉

私たちは看護師を志して岐阜大学で日々学んでいます。今回のレッドリボンフラッグ制作では世界中の人々がHIVに対する偏見をなくし、正しい知識を持ってほしいという思いを持って作成しました。ハート型のレッドリボンには人々が愛情を持ってこの活動を受け継いでほしいという思いが込められています。周りにちらばる水玉模様にはさまざまな色や大きさがあり、世界の多様性を認める姿勢を表しています。このフラッグがHIVに対するさらなる理解につながることを私たちは願っています。

〈済美高等学校〉

ハートを輪にして手をつないでいる絵にしました。それぞれのハートの色を変えて手をつないでいるのには、私達は1人ではないこと、差別のない世界にすることの2つの意味が込められています。また、赤色の風船には情熱・生命力という意味があります。エイズで苦しんでいる方々に届くようにレッドリボンで風船を作りました。差別・偏見をなくし、みんなで支え合って頑張ろうという願いでフラッグを制作しました。





〈岐阜市立草潤中学校〉

「ありのままの君を受け入れる 新たな形」は本校の学校教育目標です。私たち生徒は、お互いのありのままの姿を認めあい、助け合っているのだから、エイズに限らず、人を偏見の目で見たり、差別をしたりすることのない岐阜市になればいいなと願い、全校でこのフラッグを作りました。

〈東海学院大学管理栄養学科 臨床検査〉

岐阜県にお住まいの方々や、偶然フラッグを見た方、「エイズ」について聞いたことはあるが、よくわからないと言う方々に「エイズ」について考えていただくきっかけとなるような印象にのこるフラッグを作成しました。特に「アップデート」していただくこと、エイズについて一人一人が考えていこうという思いを込めて強く印象付くように作成しました。





〈東海学院大学管理栄養学科 臨床検査〉

臨床検査技師を目指す学生として岐阜県のみなさんにエイズについて知ってもらうきっかけになればいいと思った。

検査が匿名・無料で受けられることを多くの方に知ってもらい感染拡大が防げることを願って作成しました。